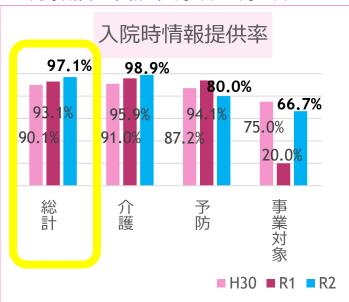
医療介護連携レポー

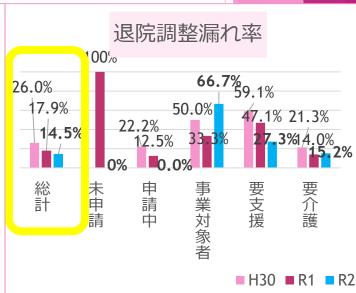
上十三圏域 vol.3 (令和2年度)

モニタリング調査へのご協力ありがとうございました。

令和2年8~9月にケアマネジャーを対象に実施した「退院調整ルール」の運用状況や課題等 のモニタリング結果についてお知らせします。

対象期間:令和2年7月1日~7月31日





病院・ケアマネ協議 について

モニタリングの結果、前年度比で退院調整 もれ率の改善がみられたため、令和2年度 の「病院・ケアマネ協議」は開催いたしま せんでした。

これからの 退院調整ルールについて

- 退院調整ルールにおける居宅介護支援事業 所の情報を更新いたしました。
- 定期的に、病院、居宅介護支援事業所内で 退院調整ルールを確認の上、効果的な運用 をお願いいたします。

上十三保健所ホームページより 更新の確認をお願いします。

コロナの影響もあり、急な退院

連携でうまくいっていること・課題

入退院時の病院との連携でうまくいっている点 80% 0% 20% 40% 60% 100% 退院前からの頻繁な連絡。情報提供 退院前カンファレンスに参加 MSW、リバスタッフによる退院前の自宅訪問 専門職のカンファレンスへの招へい 早い段階での退院又は居宅支援の連絡 担当医師、看護師からの情報説明 連携窓口が明確 プランに反映しやすい情報提供 入院中にPT、看護師等からの指導や助言 退院後の在宅医療等へのサポート 退院調整ルール運用によるスムーズな連携

入退院時の病院との連携における課題

0% 20% 80% 100%

急に退院が決まった、早期退院を迫られる 介護保険や在宅療養環境への理解不足 退院(転院)したことを知らなかった 退院時カンファレンス、退院時訪問の未実施 経過や見通しの説明不足 サマリー等情報がもらえない 退院後すぐに症状の悪化、再入院 知らない間に方向性が決まっている 支援・対応方法、連絡窓口の不明確 利用者本位でない、病院側の都合 退院日が決まった後に連絡があった 協力姿勢がない 入院中に認知症が進行した 病院から得た情報と実際のずれがある

上北地域県民局地域健康福祉部 保健総室(上十三保健所) 令和3年3月作成